

2020 年度事業計画

I. 社会的養護の必要な子どもの自立支援

1. こども・若者未来基金

- ・こども・若者未来基金による、自立のおうえんを継続します。
- ・自立援助ホーム、アフターケア事業者、児童養護施設などつながりのある子ども若者を、伴走者（支援者）とともに支援していきます。
- ・こども・若者未来基金の寄付募集目標は、10,000,000 円とします。
- ・クラウドファンディングなどを活用しながら、広く県民に普及していきます。
- ・これまでは9～11月をキャンペーン期間としてきましたが、この間3生協がそれぞれの実情に合ったやり方で寄付募集を行ってきたこと、昨年度は千葉県に上陸した台風支援のための寄付と時期が重なり寄付募集に苦戦したことなどを受け、9月をキックオフ月間として、それぞれの組織に合った方法で寄付を呼びかけます。
- ・ちばこどもおうえんだんの会員や寄付者には、12月のボーナス月に寄付を呼びかけます。
- ・キックオフ月間にあわせ、9月10月にシンポジウムを開催します。
- ・こども・若者未来基金が周知されるよう、児童養護施設等へ向けて情報発信を積極的に行います。
- ・中間的就労を含めた就労支援、定着支援や居住支援について、関係機関と連携をしていきます。
- ・2019年度に受けた遺贈を原資とし、これまでは通常メニューの中の1つという位置づけだった「途中も緊急もサポート」について、基金の大きな柱として位置づけ、拡充します。具体的な運営方法については、基金運営委員会での議論をもとに決定します。

2. その他の自立支援

- ・「パルシステム給付型奨学金モデル事業」に推薦した若者の伴走を施設と連携しながら行います。
- ・「ことばキャンプ」の児童養護施設などへの講座に参加しつつ、今後、ちばこどもおうえんだんがどのようなかかわりを持てるのか、ことばキャンプ主催者と協議していきます。

II. 貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業

- ・ちば子ども虐待防止研究会（通称 JasPCAN ちば）（2017年度虐待防止学会ちば大会実行委員を中心とする団体）等と、ゆるやかに連携し、子どもたちの支援につなげます。
- ・千葉県内で子ども関連の活動をしている団体と連携し、「ちばこどもおうえん広場 2020&オレンジリボンキャンペーン」を開催します。

III. 里親家庭支援について

- ・ちばこどもおうえんだんは、里親家庭の支援について設立趣旨で謳っています。また千葉県の里親支援機関として位置づけられています。これまで不足していた里親家庭への支援を充実させ、社会的な認知度が増すことは、社会的養護を受ける子どもたちの健やかな成長に繋がっていきます。これまでの経験を活かし、千葉県の里親関連の事業にも積極的に応募します。
- ・また、千葉市主催の「千葉市里親委託等推進委員会」に参加し、千葉市における里親推進の状況や、関係機関や団体との情報共有を行います。

IV. 啓発・広報事業

1. 啓発事業

- ・社会的養護下の子どもたちの自立について考えるきっかけとなり支援につながるよう、シンポジウムなどを開催します。

- ・児童虐待防止に関する啓発活動を行います。

2. 広報事業

- ・ニュースレターやwebを通じて、会の活動や情報を社会へ広く伝えます。
- ・認定NPOになりましたので各種団体リーフレット等をリニューアルします。
- ・ちばこどもおうえんだんに参加する県内3生協（パルシステム千葉・なのはな生協・生活クラブ生協）の機関紙等へ記事を書き、組合員に向け団体の活動について知らせます。

V. 調査研究活動事業

- ・必要に応じて、調査研究をします。

VI. その他

1. 事務局受託

- ・生活クラブ風の村が千葉県より事業受託している社会的養護下で育った人の自立後の支援をするちばアフターケアネットワークステーション（CANS）の事務局を継続して担います。主に、児童養護施設の子どもを対象にしたセミナーや地域の支援者に向けた研修会などの資料作成、アフターケア勉強会への協力などを行います。
- ・千葉県児童福祉施設協議会の事務局機能の一部を、引き続き受託します。

2. その他

- ・「わくわくプロジェクト CHIBA」が県内で広がるよう、事務局として活動していきます。昨年度末にはナビゲーターのプロジェクト参加者が限られてきたので、今後は生活クラブ千葉グループ内だけでなく関係団体（他生協団体等）との連携を模索するなど、わくわくプロジェクト CHIBA の会議の中で提案していきます。同様にナビゲーター養成講座のあり方や、シンポジウムの開催なども検討します。

VII. 組織運営

1. 運営体制

- ・事業を円滑にすすめるために、以下の通り理事会等を開催します。

理事会：年5回

こども・若者未来基金運営委員会：おおむね2月に1回程度

こども・若者未来基金生協実務者会議：5回

2. 会員拡大について

- ・認定NPOは、3,000円以上の寄付者（おうえん会員（賛助会員）・寄付者）が平均100人/年必要です。（審査対象期間は2019年度～2023年度）それをクリアできるように、年間を通じた会員の呼びかけを行います。
- ・寄付者の寄付控除について伝えながら、呼びかけます。

【目標数】

会員種別		目標（人数・団体数）	目標（口数）
運営会員	個人	20人	25口
	団体	4団体	53口
おうえん会員	個人	120人	140口
	団体	10団体	10口